

## 助成活動実績報告書

企画名	エコで味わおう！岡山の海の幸、山の幸！
団体名	おかやまエコマインドネットワーク
<p>①活動の目的について</p> <p>環境負荷の少ない地産地消を意識した「買い物」「食」をすすめる事で地域の生態系保全や農業・漁業の活性化や生産者の顔がわかるコミュニケーション、または自分自身が生産者となり得ることに気づき生活を見直し豊かさを考えることを目的とする。</p> <p>②内容について</p> <p>○学習会 5月15日（日）きらめきプラザにて会員を対象に実施、参加15名 講師：岡山県水産課主任 藤井義弘氏 内容：岡山県の推進資源現状報告、現状と県民の意識調査から水産課の活動状況と啓発の取り組みについて説明</p> <p>○ワークショップ 9月10日（日）日生港沖合にて底引き漁船で漁を見学した、参加者大人26人、小中学生12人 地元日生漁協の頭島支所の協力で底引き漁船に乗り込み漁を体験し、捕れた魚を昼食時味わった。みずしま財団の塩飽氏を講師に「おかやまの海」をテーマに講座。海底ごみ、アマモ、瀬戸内海を中心とした海の現状などを学んだ。また、漁師さんを交えて交流を深めた。</p> <p>③この活動によって達成された成果</p> <p>瀬戸内海での底引き漁船にのり漁師の仕事を身近で感じたり、瀬戸内海で旬の魚を知り見ることができた。また、魚と海の微小な生物と関係性との生態系の循環や海と山との関係を知ることで生き物や自然の循環を肌で感じる事ができた。 海底ごみから私たちの生活で捨てられているビニールぶくろや空き缶やビン類などが海へと流れている現状を知りゴミの捨て方について気づきがあった。 これらの活動から日々の生活を改めて見直し、「買い物」や「消費」を考えることで環境負荷の少ない地産地消へとつながっていくことの気づきとなった。海のことや魚のことをもっと知りたいとの意見があった。</p> <p>④今後の計画・展望について</p> <p>11月20日（日）エネルギーと食の地産地消をテーマに「井筒耕平氏」 「岡山県企業局」の講演会を実施し、子ども向けにお米をテーマにお米のできるまでに必要なエネルギーについてワークショップで学習した。 今後についてもこの「食とエネルギーの地産地消」をテーマに啓発活動をすすめていきたいと考え、次年度の活動へつなげていきます。</p>	

⑤写真等参考資料添付



船に乗り込み



漁船は日生沖へ一時間



たくさんの魚が取れています



講座「みじかな海の環境を知ろう」



漁師さんと交流